

主な出来事

【内政】

- 7月8日、ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス前大統領が逝去し、7日間の国民服喪が宣言された。
- 7月8日、憲法裁判所は8つの政党(MPLA、CASA-CE、APN、UNITA、PRS、FNLA、PHA、P-NJANGO)による総選挙への立候補を承認し、最終リストを公表した。
- 7月23日、24日の公式選挙運動開始に先立ち、ルアンダ市内でバイクタクシー運転手による暴動が発生した。

【外交】

- 7月、ロウレンソ大統領は、ラマポーザ南ア大統領と電話会談を行った他、バイポ＝テモン中央アフリカ外務・フランス語圏・在外国民大臣、フォンセカ前カーボベルデ大統領等の表敬を受けた。
- 7月6日、ルアンダで、アンゴラ・コンゴ(民)・ルワンダ三か国首脳会談が開催された。20日及び21日には、ルアンダでコンゴ(民)・ルワンダ合同委員会が開催された。
- 7月20日から23日、ブラジル・アンゴラ文化センターにおいて日本映画祭が開催された。

【経済】

- ポルトガル Mota-Engil 社とスイス Trafigra 社によるコンソーシアムは、ロビト回廊開発に係るコンセッション契約に関する入札で落札した。
- 7月15日、金融活動作業部会(FATF)によるアンゴラの金融システム審査ミッションが終了した。
- 国家石油・ガス・バイオ燃料庁(ANPG)は、アンゴラ初の非随伴ガス開発事業に対する最終投資決定を行った。

リストを公表した。

- (1) MPLA(与党): ジョアン・マヌエル・ゴンサルヴェス・ロウレンソ
- (2) CASA-CE(第三党): マヌエル・フェルナンデス
- (3) APN: キンティーノ・アントニオ・モレイラ
- (4) UNITA(最大野党): アダルベルト・コスタ・ジュニオル
- (5) PRS: ベンディト・ダニエル
- (6) FNLA: ニミ・ア・シンビ
- (7) PHA: フロルベラ・カタリナ・マラキアス
- (8) P-NJANGO: エドゥアルド・ジョナタオン・サムエル・シンゲンジ(憲法裁判所)

3. 与党 MPLA による政府プログラム発表

7月8日、ルイーザ・ダミアン MPLA 副党首は、7つの基本軸で構成される政府プログラム(2022-2027)を発表し

内政

1. ドス・サントス前大統領の逝去

7月8日、ジョゼ・エドゥアルド・ドス・サントス前大統領が逝去した。同前大統領の功績、アンゴラ国家へのレガシーに敬意を表し、ロウレンソ大統領は、法令第 5/11 号(2011年1月21日付)に基づき、アンゴラ全国及び在外公館における7月8日から7日間の国民服喪を宣言した(JA 7/8 ① ②)。

2. 総選挙候補者名簿の承認

7月8日、来月24日の総選挙に向け、憲法裁判所は8つの政党(MPLA、CASA-CE、APN、UNITA、PRS、FNLA、PHA、P-NJANGO)による立候補を承認し、最終

た。平和と民主的な法の支配の強化、メディア・市民社会の表現の自由の改革、バランスかつ調和のとれた開発の促進、社会的格差是正、飢餓及び貧困の根絶、ジェンダー平等の促進、生活の質の向上に寄与する目標を提案している[\(JA 7/9\)](#)。

4. 第三党 CASA-CE による政府プログラム発表

7月10日、マヌエル・フェルナンデス氏が率いる CASA-CE は、同党政府プログラムを発表し、2024年に国内初の地方選挙を実施することを提案した。その他、同プログラムには、(国有化された)土地の返還、司法府の財政的独立の徹底、子供・若者・女性・高齢者の重視などが盛り込まれた[\(JA 7/10\)](#)。

5. 最大野党 UNITA による公約発表

7月23日、UNITA は、ベンゲラ州で選挙公約を発表し、一党優位政党制からの脱却を提案した。本公約は、国家の緊急事態(※)、国家改革、社会的責任と連帯、持続可能な経済開発の4つを基軸としている(※当館注: UNITA を含む野党連合(FPU)は、アンゴラは今日、経済社会的緊急事態に陥っていると懸念を表している)[\(LS 7/23\)](#)。

6. ルアンダ市内における暴動の発生

7月23日、ルアンダ州での与党 MPLA による集会後、ルアンダ市内でバイクタクシー運転手により MPLA のシャツ、帽子、党旗が燃やされる事態が発生した。バイクタクシー運転手らは、同集会参加への謝金1万クワンザ(約22ユーロ相当)が MPLA から支払われていないとして抗議活動を決行した[\(DW 7/24\)](#)。

7. 選挙運動期間の開始

7月24日、アンゴラ総選挙の公式選挙運動が開始された。与党 MPLA は、ルアンダ州で選挙運動を開始し、主な政権公約として、アントニオ・アゴスティーニョ・ネト新国際空港(NAIL)周辺の都市建設を掲げた。その他、UNITA はベンゲラ州、CASA-CE はクワンザ・ノルテ州、PRS はルンダ・ノルテ州、P-NJANGO はウアンボ州、PHA はナミベ州、FNLA はルアンダ州でそれぞれ選挙運動を開始した[\(DW 7/24\)](#)。

8. 選挙人名簿への死亡者の登録に対する申し立て

最大野党 UNITA は、国家選挙管理委員会(CNE)に対し、(選挙人名簿に死亡者や転居の反映がされていないことに関し、)死亡者の名を用いるなどして、不正利用される可能性があるとの国民の懸念につき、是正を申し入れた[\(DW 7/26\)](#)。

9. 汚職訴訟関連

7月12日、検察当局は、中国国際基金(CIF)に係る事件に関し、エルデル・ヴィエイラ・ディアス元大統領府武官長(通称コペリパ将軍)とレオポルディーニョ・ド・ナシメント元軍事司令官(通称ディーノ将軍)の起訴を確定した。検察当局は、7月4日の週に同2名の捜査が完了した旨も発表した(当館注:2020年10月、検察当局は、石油を担保にした中国融資を用い CIF とともに不正行為を行っていた疑いで、両将軍が保有する資産を差し押さえていた)[\(JA 7/12\)](#)。

10. 穀物生産振興国家計画の閣議承認

7月18日、穀物生産振興国家計画(PLANAGRAO)を含む国家穀物計画が閣議承認された。同計画は、トウモロコシ、米、小麦、大豆の生産と供給を促進するための行動を策定する5か年計画(2022年から2027年)である。予算は2.2兆クワンザ(約40億ドル)に設定された[\(JA 7/19\)](#)。

11. 公務員基本法改正案の国会承認

7月21日、国会で公務員基本法改正案が承認された。本改正により、公務員採用試験の年齢制限が45歳まで引き上げられた他、勤務時間の37時間/週から35/週への短縮、テレワークの導入、公募採用者の終身雇用制度の廃止、功労賞の導入等の変更があった[\(JA 7/21\)](#)。

外交

1. 安倍元総理の逝去に対する大統領の弔意表明

7月9日、ロウレンソ大統領は、日本国天皇徳仁陛下及び岸田首相に対して、安倍元総理の悲劇的な逝去に哀

悼の意を表明する弔意メッセージを発出した。大統領は、総理大臣として、熱意と献身で職務に励み、使命感と奉仕の精神で困難な課題に取り組んだ安倍晋三氏の役割を賞賛した。また、同元総理は、アフリカ大陸、ことにアンゴラとの協力に対して特別の関心を払ってきたことを強調した([JA 7/10](#))。

2. 当地 JICA 廃棄物セミナーの開催

7月19日、当地 JICA 及びアンゴラ国家廃棄物庁(ANR)共催で「廃棄物セミナー」が開催された。丸橋大使は、開会セッションに出席し、日本は、自国の経験等を踏まえ、JICA を通じて、アンゴラの固形廃棄物処理及び管理に関する支援を行う旨述べた。フラヴィオ・アントニオ ANR 役員は、2021 年にはアンゴラ全国で 600 万トンの固形廃棄物が発生しており、廃棄物の効果的な処理について、依然として州政府など行政が取り組むべき課題があるなどと述べた([AP 7/19](#))。

3. 日本映画祭の開催

7月20日から23日、ブラジル・アンゴラ文化センターにおいて日本映画祭が開催された。20日には「おしん」、21日にはブラジル映画「Estômago」、23日には「猫忍」の上映を行った([JA 7/20 7/28](#))。

4. アンゴラの国連平和維持活動への参加

7月2日、ジョゼ・ピンパオン／アンゴラ国家警察警視正及びサリタ・アルメイダ同監察官は、国連南スーダン共和国ミッション(UNMISS)の国際平和協力隊の(アンゴラから初の)警察要員として、1年間の国連平和維持活動への任務を開始した([JA 7/5](#))。

5. アンゴラによるルワンダ・コンゴ(民)間の仲裁

(1)7月6日、ルアンダでロウレンソ大統領、チセケディ・コンゴ(民)大統領及びカガメ・ルワンダ大統領間の三か国首脳会談が開催された。同会談において、コンゴ(民)及びルワンダ両国大統領は、20年以上にわたる両国間の武力衝突の即時停戦に合意した。また、大湖地域国際会議(ICGLR)のロードマップを採択した([JA 7/7](#))。

(2)7月20日及び21日、アンゴラの仲裁により、ルアンダでコンゴ(民)・ルワンダ合同委員会が開催された。コ

ンゴ(民)・ルワンダ両国は、三か国首脳会談(上記(1))で採択されたロードマップに基づき、二国間関係の正常化に向けたメカニズムを構築する旨合意した([AP 7/22](#))。

6. 中央アフリカ外相のアンゴラ訪問

7月8日、トゥアデラ大統領の特使として、シルビー・バイポ＝テモン中央アフリカ外務・フランス語圏・在外国民大臣がロウレンソ大統領を表敬した。同外相は、ロウレンソ大統領に対し、(昨年9月の大湖地域国際会議ミニサミットにて採択された)中央アフリカの平和に向けた共同ロードマップの進捗状況を報告した([JA 7/8](#))。

7. アンゴラ・南アフリカ首脳電話会談

7月21日、ロウレンソ大統領は、ラマポーザ南ア大統領と電話会談を実施し、コンゴ(民)・ルワンダ関係の正常化に向けた調停プロセスに関する詳細を報告した。同会談において、ラマポーザ大統領は、ロウレンソ大統領に対し、本年8月のSADC首脳会合(当館注:8月17日及び18日にコンゴ(民)で開催予定)において、コンゴ(民)・ルワンダ間の相互理解促進に向けたアンゴラの調停プロセスに関する詳細を承知したいとの意向を示した([JA 7/22](#))。

8. アンゴラの中部アフリカ諸国経済共同体(ECCAS)首脳会合出席

7月25日、アントニオ外相は、ロウレンソ大統領の代理として、第21回ECCAS首脳会合に出席した。同会合において、各国首脳らは、コンゴ(民)東部の政治・安全保障情勢につき意見交換を行った。加えて、中央アフリカに対する武器禁輸措置の解除を引き続き国連安保理に働きかける旨決定した([JA 7/26](#))。

9. カーボベルデ前大統領のアンゴラ訪問

7月25日、ジョルジ・カルロス・フォンセカ前カーボベルデ大統領は、ロウレンソ大統領を表敬した。両者は、両国の政治・経済・社会情勢につき意見交換を行った。フォンセカ前カーボベルデ大統領は、今回のアンゴラ訪問は在留カーボベルデ人コミュニティと会合を実施するためであるが、8月24日の総選挙で(ポルトガル語圏共同体選挙管理ネットワーク(ROJAE-CPLP)の)選挙監

視ミッションを率いるため、近々ルアンダを再度訪問する予定だと述べた([AP 7/26](#))。

10. アンゴラ・米国関係

7月26日、ムシギ駐アンゴラ米国大使は、ロウレンソ大統領を表敬した。両者は、太陽光発電、海上保安、グッド・ガバナンス、経済パートナーシップ、投資関連、HIV/AIDS、ワクチン事業等の議題に加え、本年12月13日から15日にワシントンで開催される米・アフリカ首脳会合に関し意見交換を行った([AP 7/26](#))。

経済

1. ルアンダ製油所石油化学コンビナートの完成

7月7日、ロウレンソ大統領は、ルアンダ製油所の石油化学(ガソリン)コンビナートの完工式に出席した。同コンビナートの完成により、これまで約39万リットル/であったガソリン生産量は158万リットル/日に増加し、現在のガソリンの輸入量を15%削減することが可能となる。本建設事業は、2019年6月、伊ENIの技術と監督の下、2.35億ドルという多額の予算で開始された([JA 7/7](#))。

2. アンゴラ・ケーブルズ社の債務不履行

銀行外部監査機関によれば、通信部門の主力企業であるアンゴラ・ケーブルズ社(AC社)は、2021年時点でアンゴラ開発銀行(BDA)への債務約3億ドルの返済が困難な状況に陥っている。AC社のBDAへの返済義務は2018年から発生していたが、2020年7月時点で自己資本比率はマイナスとなり、2020年末には実質的に倒産状態であった。現在の支払遅延額(元本一部と利子)は、1.12億ドル以上に上る([EX 7/8](#))。

3. Mota-Engil のロビト回廊コンセッション落札

ポルトガル Mota-Engil 社とスイス Trafigra 社によるコンソーシアムは、ロビト回廊開発に係るコンセッション契約に関する入札で落札した。同契約は、(鉱物資源や燃料など大型貨物輸送に関する)ベンゲラ鉄道と物流インフラの30年間の管理である。アンゴラ政府は、既に入札

結果を承認する命令書に署名した([ME 7/6](#))。

4. 2022年第1四半期対外債務

2022年第1四半期の対外債務残高は504.02億ドル(前年末より8.41億ドル減)となった。対中債務は、前年末より3.508億ドル減少したものの、未だ全体の42.5%(当館注:約214.2億ドル相当)を占めている。アンゴラ国民一人あたりでは1,524ドルの借金を背負っていることになり、その内訳は、最大債権国である中国に648ドル、次いで英に388ドル、米に87ドル等への返済となっている([EX 7/12](#))。

5. 金融活動作業部会(FATF)による審査の終了

7月15日、6月27日から実施されていた金融活動作業部会(FATF)東部・南部アフリカ諸国マネーロンダリング防止グループ(ESAAMLG)によるアンゴラの金融システム審査ミッションが終了した。同審査ミッションは、マネー・ロンダリング・テロ資金供与対策(AML/CFT)及び大量破壊兵器拡散への資金供与防止のためのアンゴラ金融システムにおけるFATFの40の勧告に基づく法令整備状況と遵守の程度を評価した([JA 7/16](#))。

6. アンゴラ・マカオ間の金融監督に係る協力

7月15日、マカオ金融管理局(AMCM、中銀に相当)は、アンゴラ中央銀行(BNA)と金融監督、情報交換、危機管理、人的事交流の分野に関する協力枠組み合意を締結した旨発表した。強固な金融監督に関する協力関係の構築により、両国金融機関の安定した運営を維持することを目的としている([JA 7/17](#))。

7. 国家通信監視センターの設立

7月19日、ルアンダ州タラトナ市において、通信市場の規制及び監視を目的とする国家通信監視センターの開所式が執り行われた。今後、アンゴラ通信機構(INACOM)に所属する機関として、船舶航行、航空機運航、ラジオ、テレビ、携帯電話、及びインターネット接続広域バンドの無線周波数を調整し、経済活動に悪影響を及ぼす干渉回避を目指す([AP 7/19](#))。

8. 韓国との鉱山探査に係る合意

7月24日、韓国ソウルにて、アンゴラ地質研究所(IGEO)とアフリカ韓国経済開発協会(AKEDA)は、アンゴラにおける世界基準の鉱山探査のための試掘および調査プロジェクト形成のための作業部会の設立に関する合意書に署名した。同署名式は、エドガー・マルティンス駐韓アンゴラ大使立会いのもと実施された(JA 7/25)。

9. 非随伴ガス開発事業への投資

国家石油・ガス・バイオ燃料庁(ANPG)は、アンゴラ初の非随伴ガス開発となるキルマ&マボケイロ油田(Q&M)の開発事業に対する最終投資決定を行った。本事業は2022年内に着工、2026年にガス供給開始の見込みであり、2つの海上プラットフォーム及びガス処理プラントの建設の他、コンデンセートとガスの商業化に向けた(ガス処理プラントから)アンゴラ LNG のプラントへの輸送網の整備等を行う(JA 7/29)。

10. 英国でのアンゴラ産レアアース処理工場の開設

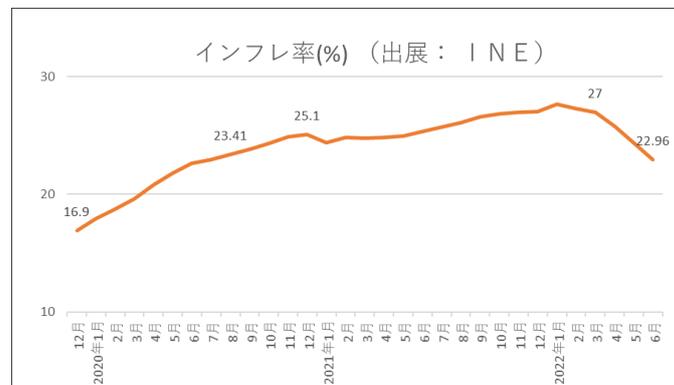
当地英国大使館は、7月29日、英国ソルトエンドにて、ペンサナ社のレアアース処理工場の開設式が執り行われた旨発表した。同工場は、現在建設作業が進んでいるアンゴラのロンゴンジョ鉱山(同社が鉱業権を持つ鉱山)で採掘されるレアアース年間12,500トン以上を分離精製する見込み。2024年からの生産開始を目指している(JA 7/31)。

【主要経済指標】

1. 物価

国家統計院(INE)が発表した6月のインフレ率は、全国平均で前月比0.84%、前年同月比22.96%。

最も物価上昇に影響を与えたのは、食料品・非アルコール飲料(0.42%)、モノ・サービス(0.08%)、家具、家財、メンテナンス(0.07%)、衣類・靴(0.06%)、保健(0.06%)。



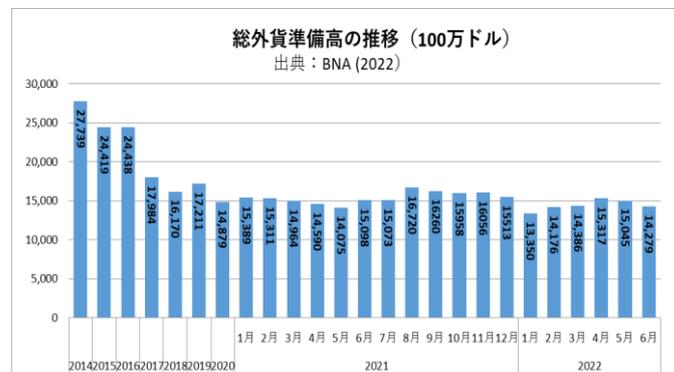
2. 金利

7月29日、金融政策委員会(CPM)が開催され、政策金利(20%)、流動性吸収ファシリティ金利(7日物)(15%)の維持が決定された他、限界貸出ファシリティ金利(オーバーナイト物)の25%から23%への引き下げ、クワンザ建て法定準備率の19%から17%への引き下げが決定された。

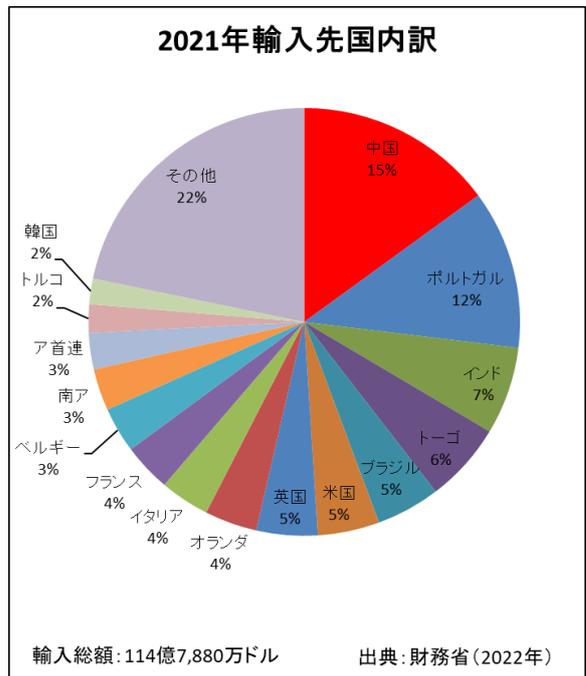
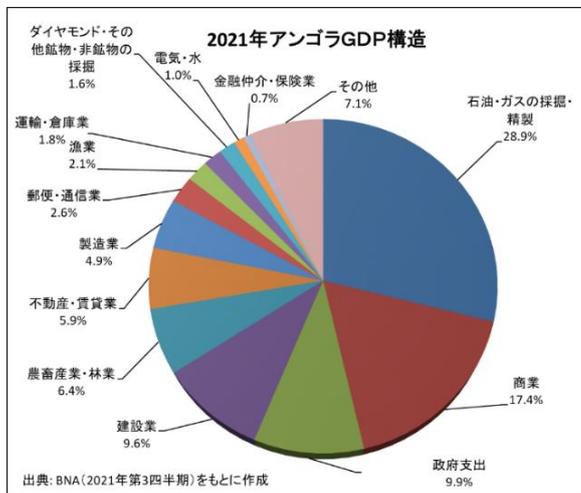
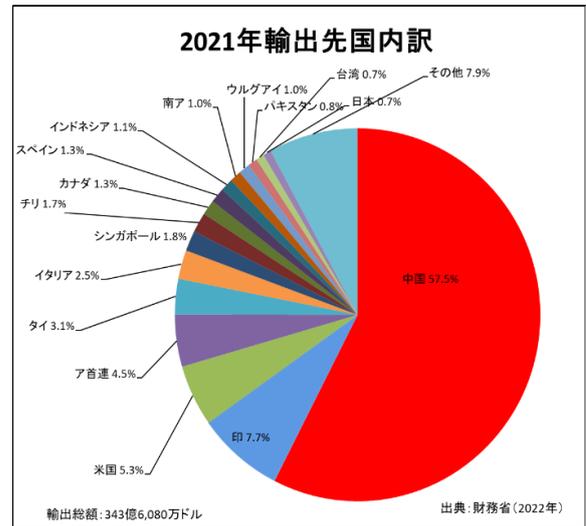
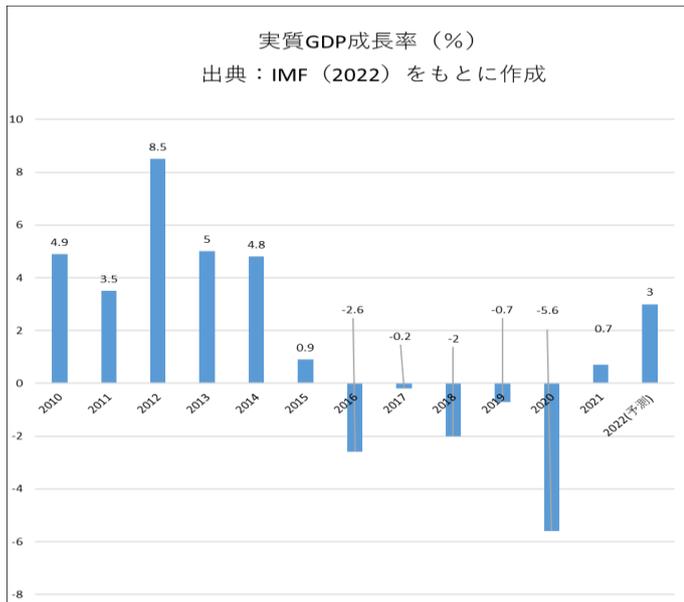
3. 為替市場

7月29日、為替相場は1USD=433.264 AOAで推移。

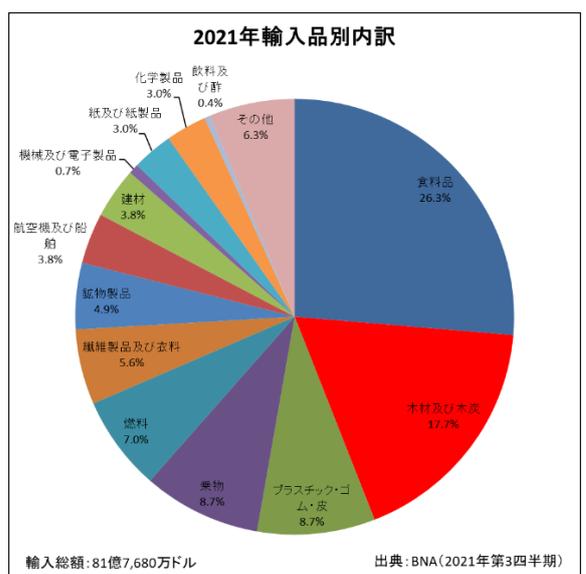
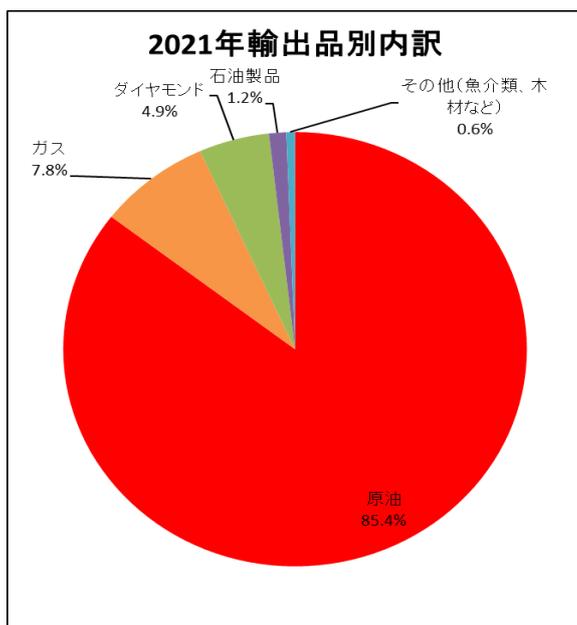
4. BNA 発表の外貨準備高統計



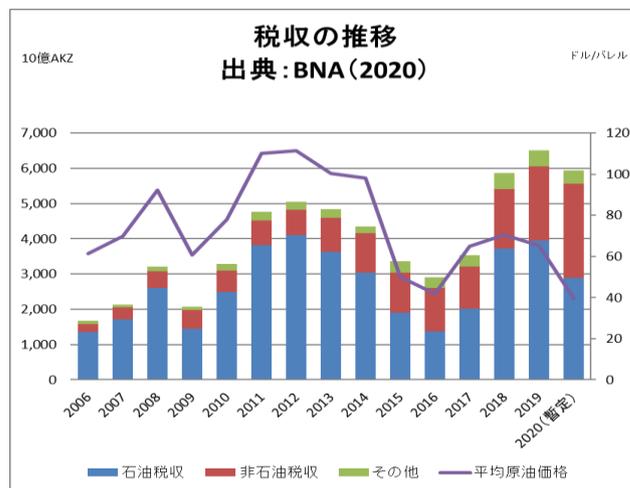
5. GDP及び成長率



6. 主要貿易統計



7. 財政主要統計



**** AA: All Africa、 AC: アンゴラ華人報、 AfN: Africa News、 AN:Ango Notícias、 AO: Angola Online、 A024:Angola 24 horas、 AP: Angop、 BB: Bloomberg、 CK: Club-K、 CRK: Correio Kianda、 DN: Diario de Noticias、 DV: Dinheiro Vivo、 DW: Deutsche Welle、 EG: E-Global、 EIU: Economist Intelligence Unit、 EN: Euro News、 EX: Expansão、 EXP: Expresso、 FT: Financial Times、 FM: Forum Macao、 GOV: Government' s Official Portal、 JA: Jornal de Angola、 JE : Jornal Economico、 JN: Jornal de Negocios、 LS: Lusa、 ME: Mercado、 MH:Macau Hub、 MR: Mining Review、 MW: Mining Weekly、 NAM: Noticias ao Minuto、 NJ: Novo Jornal、 OBS: Observador、 OP: O País、 PA: Portal de Angola、 PB: Publico、 RE: Reuters、 RFI: Radio France Internationale、 RTP : Rádio e Televisão de Portugal、 TPA: Televisão Pública de Angola、 VA: Ver Angola、 VE: Valor Económico、 VG: Vanguarda、 VI: Visão、 VOA: Voice of America、 WB: World Bank、 WSJ: Wall Street Journal、 XN: Xinhua Net